

研究論文の募集について

資産評価政策学会学術委員会

資産評価政策学会学術委員会（以下「委員会」という。）では、研究論文を広く募集します。

「研究論文」とは、資産評価政策に関する学術論文で、委員会による審査を経て、『資産評価政策学』に連載されるものです。

1. 資産評価政策学に係る研究論文について

資産評価政策学に関しては、従来からの学術研究分野における研究課題に加えて、広範かつ多岐に亘る関連研究分野の学際的領域や、学術研究と民間・行政実務との境界領域において、例えば次に示すような新たな研究課題が提起されています（あくまで例示であり、これだけに限られるわけではありません。）

(1) 資産評価に係る理論・実務に係る研究

- ①資産評価に関する理論や実務技術の一層の精緻化
- ②地図情報データベースの普及、行政のOA化の進展当技術進歩を踏まえた評価技術のあり方
- ③公平かつ効率的な課税・徴収システムのあり方

(2) 資産評価手法や税制が社会・経済現象に与える影響や、そのメカニズムに係る研究

- ①不動産市場

[研究論文応募要項]

1. 内容

資産評価政策学に関する最近の研究成果又は調査報告等で未発表のもの。

2. 応募資格

資産評価政策学会（以下「学会」という。）会員。連名者も会員であること。

3. 原稿執筆及び投稿要領

- (1) 応募者は、「研究論文執筆要領」に従い、論文を執筆すること。

【研究論文執筆要領（抄）】

- ①本文は和文、英文のいずれかとする。
- ②原稿は、会誌12ページ以内(22,080字程度)

- (2) 応募者は、下記の書類を学会事務局原則メール添付にて送付すること。

- ①正論文（著者氏名及び著者所属を記載したもの）
- ②副論文（著者氏名及び著者所属を消したもの）
- ③研究論文審査申込書（別紙1）

4. 研究論文の採否について

委員会が、複数の者による査読を経て、学術論文としての審査を行い、合格、条件付き合格、修正再査読または不合格のいずれかを判定する。

5. 発表

合格した研究論文は資産評価政策学会機関誌に掲載する。

6. 著作権

- ①掲載された研究論文の著作権は執筆者に属する。
- ②学会は編集出版権を持つものとする。

7. その他

連絡先 資産評価政策学会事務局

住所：〒102-007 東京都千代田区富士見2-7-2

ステージビルディング7階

電話：03-5211-1037 FAX：03-5211-1425

[研究論文執筆要領]

1. 本文は和文・英文のいずれかとする。

2. 和文の場合の形式：

- (1) 原稿ページ数は、審査付部門・論文が会誌12ページ(22,080字程度)以内とする。ただし、本文の字数は、全体から題目、著者名、英文概略等を記すための分(約920字相当)を差し引いたものとなる。
- (2) 1ページ目に以下を記述する。
 - ①論文題目（和文及び英文）
 - ②著者名（和文及び英文）
 - ③英文概略（abstract）（200 words以内）
 - ④キーワード（和文及び英文）（“Key words ;”のタイトルを付け、上に英文、下に和文を対応させ、カンマで区切って列挙する。3～5語でかつ全体が2行以内に収まるように配置すること。）
 - ⑤著者の所属（和文及び英文）
- (3) 原稿は、原稿作成要領に従い、テキストを埋め込んだ

PDF形式で作成する。

3. 英文の場合の形式:

- (1) 原稿ページ数は、12ページ (3600 words程度) 以内程度とする。ただし、本文の字数は、全体から題目、著者名、概略等を記すための分 (約300 words相当) を差し引いたものとなる。
- (2) 1 ページ目に以下を記述する。
 - ①論文題目 (英文)
 - ②著者名 (英文)
 - ③英文概略 (abstract) (200 words以内)
 - ④著者の所属 (英文)
- (3) 原稿は、原稿作成要領に従い、テキストを埋め込んだPDF形式で作成する。

4. 執筆要領

- (1) 原稿の書き方は、論文題目、著者名、英文概略、キーワード、本文、注、参考・引用文献の順に記述する。
- (2) 引用は、著者 (年) の形で行う。

- (3) 参考・引用文献は、参照した文献を五十音順またはアルファベット順に並べる。ただし、どちらかに統一し、和文雑誌：引用論文著者名 (公刊西暦年号) 「表題」『掲載紙名』巻 (号)、参考・引用ページ
英文雑誌：Author (Year) "Title" *Journal*, Vol(No.), First Page-Last Page. 単行本 (和文)：著者名 (西暦年号) 『書籍名』、参考・引用ページ、発行所名
単行本 (英文)：Author (Year) *Book Title*, Publisher
のように書く。
- (4) 番号は、原則として
 1. 章番号
1-1. 小章番号 (必要な場合に付する)(1) 節番号……大きな区切り
1) 小節番号……次に大きな区切り
①細目番号……列挙して説明する時などとする。
- (5) 表はタイトルを表の上につける。図はタイトルを図の下につける。

<原稿作成要領>

図1. 和文レイアウト

